

市議会総務委員会(2月6日開催)行政報告での主な意見

◇想定利用者(ターゲット)の意見を踏まえた検討の進め方に関する意見

- 「高校生を初めとした若い世代の人たちの場所」の機能について、今後の議論の状況を踏まえた上で、実際に利用する世代の方々が当事者として関心を持って将来的に利用してもらおうという見通しを持っていくことが必要ではないか。
- 自分たちのものである、若い人たちにとっても大事なものだという認識を持ってもらうためにも、計画段階から関わってもらおうような形は検討できないか。
- 中間とりまとめで有識者の意見は出ているが、今後は、現場の人や若い人の意見を入れていただきたい。
- 料理を作るにしても、作った後に味付けを変えるのではなく、素材選びから入っていただいた方が良く、若い人の意見もしっかりと取り入れながら、若い人の発想で、若い人が拠点にしたいと思わせるような幸町地区に整備していくべき。
- 時代の流れも急速な変化をしている。平成 28 年から検討してきている状況の中で、苦労もあると思うが、少し青写真を示しながらやっていただきたい。

◇周辺のまちづくり施策を踏まえた検討に関する意見

- 現在、中央地区で進められている呉駅周辺地域総合開発や入船山公園多目的広場(市民広場)への陸上競技場整備などをはじめとしたまちづくり施策については、幸町地区総合整備にも影響を与える要因であると考えられる。このため、これらの情報を有識者会議へ共有し、幸町地区の空間をより生かしたものとするための議論を行っていただきたい。

◇地区内の呉市立美術館や隣接する市民広場へのスポーツ施設再配置計画に関する意見

- 今後、有識者会議の中で、スポーツ関連施設整備のエリアと、文化・芸術のエリアである幸町地区との間での連携や機能分担できることについて議論し、いろんな意見を拾い上げ、お互いの開発や整備に関する議論に反映していくことが必要と思う。
- 美術館前の道路が一方通行であるとか、新しく展示会を開催しても、そこから物を出して積む際に、結構手間がかかるなど、そうした現場の意見を聞き、今後の会議に入れていただけたら良い。
- 美術館は美術館としての独立した役割を確保していかないといけないと思う。
- スポーツ施設再配置に関する問題も、美術館にしても、どのように役割分担を担っていくのかについて、あまり拾い過ぎずまとめていくことが大事になってくると思う。今後も引き続き、丁寧に取り組んでいただきたい。

◇整備スケジュール及び有識者会議での検討状況に関する意見

- 文化・芸術のエリアとして整備していくのであれば、総合的に同じようなタイミングで実施いただければと思う。
- 有意義な議論がされているという感じを抱いている。今後の議論にも期待したい。
- 大いに期待している。